



転車を降りるよう案内して良いと思う。(小山)

- ・ 検討していただいている、お知らせ看板などを設置では強く案内しても自転車を降りないと思うので、誘導路のカーブをもう少し緩やかに変更して頂けないか。東雲橋から誘導路に入る狭い場所、及びその先、誘導路の端カーブ部分も心配です。おそらく声をかけても止まってくれないと思われるので十分にご検討ください。(近澤)

※水道局は、通信不良のため次回説明することとなった。

## 議題2. 地域活動関係

### (1) デジタル庁防災システムモニタリング協力について (3/2)

- ・ スマートシティ推進協議会(清水建設)秋山氏から経緯説明  
江東区が行っている防災に関するコンテンツに関して住民の方に協力をしてほしいとのこと。内容は、災害時の要支援に対するサポートに関する実証実験と聞いている。
- ・ 小山より本事業の主旨等の説明。防災分野のデータ連携基盤の実証の参加者募集について過日江東区防災課と三菱総研様に話を伺った。

#### 【実施概要】

- ・ 実施日時は令和7年3月2日 9:15~16:00(詳しくは添付資料参照)、参加人数は20人弱を予定

#### 【開催主旨】

- ・ いわゆる「防災アプリ」と呼ばれるものが様々な自治体や企業から様々に提供されるようになった。しかし利用者としてどのアプリをどのように使用するのが効果的なのか分からず、混乱してするようにもなった。このためこれらのアプリを一つに統合すべくデジタル庁が取り組むことになった。開発期間は3年を目処にするとのこと。
- ・ 五丁目では2018年から企業開発のシステムによるAI防災訓練に取り組み、災害時の効果的な情報共有を目指してきたが、行政導入になかなか至らずスタンダード化を果たせないうちに、他の多数の「防災アプリ」に埋もれてしまった。我々住民としては一つの災害情報を住民間や住民行政間等で効率的に共有できることを望んでいる。この点でデジタル庁の取り組みは理にかなった方針であり、我々の経験を活かして協力したいと思っている。(小山)

#### 【質疑】

- ・ スマートシティ推進協議会様としてはこの試みについてはどのように考えているのかお聞かせ頂きたい。(近澤)
  - いままで進めてきた my groove もこの施策と連携できると印象を受けた。いろいろな企業がバラバラに進みがちだが江東区の防災課を通してそこをうまく連携したいと考える。(秋山)
- ・ デジタルを活用した防災というのは発災時発災後に有効に活用できる物を目指して作られたと思う。何回かの訓練を経て、今は方向性が変わり事前の準備のためにデジタルを活用するという意味で my groove ができたと思う。実際に災害が起きたときにデジタルで解決するのは使える人使えない人の格差が大きすぎて難しいのでは無いかと思う。  
また東京都防災や江東区のアプリとか充実しているがあくまで平時に見る物であり、災害時に見る物ではないと認識している。災害時に情報をどのように取得し、他の人たちと共有するのかというツールを作ることは重要なかもしれないがそれをどのように可能にするのか、今回

の実証実験でわかることが期待できますか？（近澤）

- ・ 今回はモニタリングでありこれを持って正式な物にしようと言うことではないと理解している。また対象者は要支援者ではなく、支援者を対象としているので、デジタル・ディバイドを気にしなくて良いと理解している。（小山）
- ・ 能登の震災等で避難所に誰が来たとかそういった管理についてデジタルを利用して行う事ができた事例がある。デジタル庁が中心となり、防災に関してデジタルを使う事に力を入れ始めていると聞いている。いろいろな企業が、被災地に出向き役立つサービスの取り組みが始まっている。我々が皆様と進めている取り組みも皆様にとって災害前から役立つ内容が取得できるよう進めているが、災害後に関してもサポートできる部分を今後作り上げていく段階かと思う。（秋山）
- ・ 各マンションの災害協力隊は災害時自分のマンションの対応で手一杯だとおもう事を考えると、災害協力隊から人を出すと言うことは改めた方が良くと思う。（近澤）
- ・ my groove との連携というのは、今回のモニタリングをやったことの情報や意見交換などの使い方も含まれるものと思う。三菱総研様の説明では、弱者を支援する側の立場としてのプラットフォームなので評価を頂きたいとのこと。まずは使ってみてその後災害協力隊向きなのか、そうでないとかの評価はその後なのではないかと思っている。今回のシステムの目的が要支援者対応とうかがったので、自動的に災害協力隊がモニタリングに相応しいと思ったが、参加可能な方がいらっしたら、各マンション、災害協力隊やフリーの方など自由に考えられたらと思う。（小山）
- ・ 災害時は2～3日は混乱していて実際に災害協力隊の活動が軌道に乗るのはその後だと思う。その後、マンション以外で協力がどこまでできるかというよくわからないというのが、正直なところで、1～2週間後ぐらいでないと、他の協力は難しいのではないかと思う。（松山）
- ・ 一般的に発災時の使用に関心が向きやすいが、問題は数日たった後。連絡のやり方、支援者の状況など調べ始めるあたりから必要になるのではないか。その時の想定される様々なシーンにおいて、自分たちに本当に使えるかが我々の評価だと思う。  
今回のモニタリングで大きな意義を感じているのは、これまで企業や各行政がそれぞれ行っていた防災アプリの開発や配布を、国が共通したプラットフォームを開発し、統括して普及をはかる姿勢が見えてきたこと。是非ご理解ご協力ください。（小山）

(1) 第10回ノルディックウォーキング実施リマインド等

すでに本会 HP (<https://x.gd/20HuH>) 等で告知していますが、応募者がまだまだ少ないです。掲示等で住民への告知をお願いします。今回は、初詣ノルディックということで八幡様にお参りに行きます。

(2) 江東区清掃施設見学会参加者募集（2/12 実施 希望者小山あて 1/15 までに）

毎年恒例の見学会。今年も募集案内がまいりました。2月12日に実施。希望者は15日まで小山まで連絡ください。

(3) チームラボ内覧会（1/18 18:30～）

参加数には融通が利きますので希望者は小山まで連絡をください。

(4) 防犯パトロール関係

1/9 予定通り実施。オーベル担当で12名参加した。そのうち子供が3名。オーベルさんではミニ防犯灯を購入し参加者全員に配布。なかなか盛大で防犯パトロールらしかった。

(5) 各種イベント情報

① 豊洲市場外マルシェ（吉開さん）

1月は「熱燗マルシェ」を行います。11月3日に豊洲市場で初めて市場祭りを行った。皆様の意見を聞きたい。

- ・ 市場祭りは、毎年あって当たり前だと思う。5年10年に一回とかではないと思う。（小山）
- ・ 近隣と行っても、少し距離があるのでなかなか市場に足を運ぶことが少ないと思う。こういったお祭りをやって頂けると、機会ができて良いのかなと思う。（近澤）

(6) 連携団体からの情報共有

① とよにしサポーターズ・クラブ：

18日に星空教室を行う。定員20名のところ30名の応募があった。

② ひまわりの会：

可愛いお花を一杯、花の種類を増やした。まもなく、お花の隙間からチューリップを芽を出します。

※以下来年度事業計画の備忘録として

① いちご狩りバスツアー 4/20（日）

② 運ルネ「豊洲水彩まつり2025」 5/31（土）～6/1（日）

- ・ 5月31日（土）非動力船（セイラビリティ東京）・ゴムボートレース・模擬店
- ・ 6月1日（日）動力船（スカイダック、運河クルーズ）+海辺の清掃活動

議題3, 合同新年会

(1) 1/11（午前中通常会議） 17時～20時 シエルパーティールーム

対象：本会、都営自治会、+連携団体（ワーカーズ、スマートシティ推進協議会（清水建設））、他

議題4, 自治会運営関係

(1) 本会総会準備について

年が明けたので、総会の準備を役員の皆様と相談しながら、分担してゆっくり進めていきます。

議題5, その他

(2) 鈴木区議からの情報

豊洲4丁目のターザン公園でたばこや酒盛りなど、苦情が来ている。江東区で張り紙など対応したが、改善せず、バリケードを設置することになった。

活動報告

12/23	東ガス不動産来訪	01/09	防犯パトロール オーベル
-------	----------	-------	--------------

12/23	防災課、三菱総研来訪		
01/06	江東区賛詞交換会		

次回開催 2月8日(土) 10:00 議事録/防犯パトロール当番: グラン

以上

## ◆ 議事録後記

みなさんは「フキハラ」ってハラスメントはご存じでしょうか？

このところハラスメント用語が爆増しているのととても追いつかないのですが、また新しいハラ用語が出現しました。

正確には「不機嫌ハラスメント」といい、「不機嫌な態度をとることによって、相手や周囲に不快感や威圧感を与えるケースを指し、新たなハラスメント行為として近年問題視されています。ハラスメントは人権侵害の不法行為であり、企業側は安全配慮義務違反により責任が問われる可能性があるため、対策は必須です。」とのことのようです。

この「フキハラ」のことは友人から聞いたのですが、我が自治会は企業じゃないし、こんなことは関係ないかな？と最初は思ったのですが、いや待てよ・・・と思ったのが ZOOM です。

リアルな対面ではその場の雰囲気やボディアクションなどコミュニケーションの情報が豊かに取得できますが、ZOOM では声と顔の表情だけの極めて限られたコミュニティー空間です。

うっかり一瞬でも嫌な顔をすればフキハラととられかねません。ご存じの通り本会は ZOOM を多用していますのでそのような“事故”が多発してしまう危険もあります。

ならば全員顔出ししなければ良いのでしょうか？

そんな引っ込んでいくような方法より、明るく清々しい表情を作り出すことに努める事の方が健全であり、お話しも前向きに活発になると思います。

ZOOM ではリアル対面ではできない「**自分の顔を見ながらおしゃべりする**」ことができます。

そんな事にも配慮していただき、全員が楽しく ZOOM 会議ができるようにしましょう。

(小山)